

追加資料【第1回地域福祉活動計画地域福祉懇談会（打ち合わせ）】（令和5年7月14日開催）

令和5年度 新津中央地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和5年6月12日(月)14:00～15:30

会場：新津地域交流センター（203・204 研修室）

【出席者】 地域福祉活動計画実行委員会： 中村会長(コミ協会長)、小林委員(コミ協副会長)、小野沢委員(コミ協副会長)、本望委員(コミ協事務局長)、三澤委員(健康福祉部)、五十嵐委員(新津本町4-2区町内会長)、池野委員(一中地域教育コーディネーター)、菅井委員(一中地域教育コーディネーター)／ 計8名
秋葉区社会福祉協議会：横山(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
居場所	<p>○居場所づくり (三善道憩いの場「絆」)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回広報紙を発行し、今後も活動が見える化していきたい。 ・地域での横のつながりが出てきた。 ・横断した情報交換をしていくと良い。 ・責任者がいなくても運営できるようにしたい。 ・活動が定着するようにしたい。(年間を通じた活動をしていく) ・地域を越えた活動に発展していきたい。 ・やりたいことは多くあるが、みんなが忙しくならないようにしたい。 ・遊歩道のコキア植栽活動を継続する。 ・防災訓練を一緒にできそうである。 ・参加者は多かったが、子どもの参加が少ない。 	<p>○三善道憩いの場「絆」の継続 (活動の見える化、情報交換、PTAとの連携)</p>	三善道「絆」の会

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを対象とした学習については、年間を通じての活動でないと定着しない。 ・PTA が望んでいる活動をしたい。そのための声を聞いたり、巻き込むことが大切。 		
緊急情報キット	<p>○緊急情報キットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急情報キットがあることは認識されている。 ・大変良い事業なので各世帯に説明した方が良い。 ・緊急情報キットの更新作業は大事である。 ・緊急連絡先が大事である。 ・町内によってやり方が違う。（町内ごとに任せている） ・記入が適正か確認していない。記入されていないと意味がない。 ・文字が書けないなど支援が必要な人もいる。 ・コミ協健康福祉部が中心になり、各町内会で実施しているが、全世帯に配布している町内もある。 ・施設入所等で世帯数が減り、38 世帯となった。（本町 4 丁目 2 区） 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キットの活用や周知について検討 ○更新や内容について検討 ○緊急情報記入の啓発 	<p>コミ協(地区社協・健康福祉部) 自治会・町内会</p>
交流	<p>○ラジオ体操を通じた健康づくりと住民同士のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくりになるだけでなく、ゆるやかな交流となっている。 ・交流センターに園児や保育士も来て一緒に体操をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ラジオ体操の普及を継続 	<p>コミ協(地区社協)</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
交流	<p>○祭りを通じた交流</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りが地域のつながりをつくり、気運を高める活動である。 ・子どもが文化を知る場となる。親も体験しないと子どもに伝えられない。 ・神輿はPTA主催にしたい。（本町3） ・学年が上がると、お囃子ができるのを楽しみにしている子どももいる。 ・お祭りを体験した子どもは楽しみにしている。 ・今は縁日が無いが、子どもたちは縁日を楽しみにしている。（屋台より縁日） ・町内と屋台団体がイコールではないという課題がある。そのことから、参加したい子どもが参加できない場合がある。 ・高齢化で存続が心配である。見に来る人も減っている。 ・お祭りが文化になっている地域もあるのに淋しい。 ・新潟市の祭りの補助金制度を活用。今年は開催される。 ・知っている人がいないと参加できない。気軽に参加できるように声かけが大切。 <p>○高齢者の関わりの場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が著しい。老人クラブが解散しているところが複数ある。 ・高齢者の参加が難しい。関わりを考えていく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○誰でも祭りに参加できるような働きかけや声かけが必要。 ○PTAとの連携を検討 ○祭りに関する課題の検討 <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者の関わりの場を考える。 	<p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 PTA・屋台運営団体</p> <p>コミ協(地区社協) 自治会・町内会 地域の茶の間・いきいきサロン</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
学校との連携	<p>○学校・PTA・地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏休みの地域懇談会が無くなり、PTAと町内会で話し合う場が無くなった。 ・通学路の除雪活動(善道町1丁目除雪隊)を、学校へ伝えていくと良い。 <p>○自学ひろばの継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者からも大変喜ばれている。 <p>○中学生とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・祭りや町内行事などに参加することは大事である。 	<p>○PTAとの連携を検討</p> <p>○地域教育コーディネーターと連携</p> <p>○自学ひろばの継続</p> <p>○中学生の地域活動参加への働きかけ（地域教育コーディネーターと連携）</p>	<p>コミ協(地区社協) 地域教育コーディネーター・PTA</p> <p>コミ協(地区社協)</p> <p>コミ協(地区社協) 地域教育コーディネーター</p>
支え合い	<p>○ごみ出しや除雪支援の助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続して検討をしていく必要がある。 	<p>○ごみ出しや除雪支援の継続</p>	<p>善道町1丁目自治会 秋葉3丁目町内会</p>

令和5年度 新津西部地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和5年5月27日(土)13:30～15:00

会場：コミュニティスペースやまや

【出席者】新津西部コミ協：蓮沼会長、内田副会長(美幸町町内会長・支え合いのしくみづくり会議構成員)、小松副会長(新栄町町内会長)、小菅副会長、齊藤事務局長

新津西部地区民協：佐藤会長

町内会：小林会長(緑町)、五十嵐会長(南町二区)、中村会長(山谷町1)、田邊会長(山谷町2・3丁目)、川崎会長(古田)、明間会長(天神)／計12名

秋葉区社会福祉協議会：横山(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み
生活支援・移動支援	<p>○生活支援の必要性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスみゆきでの困りごとの助け合いを通して情報収集、町内の世帯状況を知る。 ・ジャンパーを着用し、見守り等も行う。 ・移動支援の検討をしている（新栄町町内会とほっとサポートしんえいと連携） <p>・ごみ出しに困っている。ごみステーションの掃除ができない人もある。 →ごみ掃除や隣組長を免除した。</p> <p>・声をかければ声を出してくれる人も出てきた。</p>	<p>○生活支援の継続（ビジネスみゆき）</p> <p>○新栄町移動支援の実現に向けて検討を継続</p> <p>○地域における助け合いができないか検討できると良い。</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み
居場所	<p>○居場所づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居場所を求めている。 ・コミ協と連携した居場所を立ち上げたいが、コミュニティスペースやまやへの距離が遠い。(天神) ・老人クラブ解散に伴いサロンも解散していたが、また集まって交流したいと復活した。サロン助成金申請は面倒だという声がある。(山谷町1) <p>○老人クラブの継続の為の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内の世帯数が少ない為、新栄町の老人クラブに参加している。(緑町) <p>○新津西部コミ協の役割（活動の場を提供）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員を受けてくれる人が少なくなった。 ・コロナ禍や社会の変化により、コミュニケーションがとりづらくなった。 	<p>○居場所の立ち上げ検討 (天神・美善町)</p> <p>○交流や活動の場を作る。 ○『コミュニティスペースやまや』の活用をPR</p>
緊急情報キット	<p>○緊急情報キットの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配布登録状況がどうなっているか把握できていない。 ・情報用紙の記入の確認ができると良いが、難しさがある。 ・キットの活用状況、実態がわかると良い。 ・しくみづくりをどうするか検討が必要 	<p>○緊急情報キット配布先の把握</p> <p>○緊急情報記入の啓発</p> <p>○緊急情報キットの活用や周知について検討</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み
見 守 り	<p>○動物を介したコミュニケーション（きっかけづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬を連れていると声をかけやすくなる。人の輪が少しでも広がると良い。 ・ごみ出しの際も、犬と一緒にだと声をかけてくれる。 <p>○おせち配食事業（R5～名称変更予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度からは業者配達ではなく、地域の協力により届けることができるかどうかの検討を継続する。 <p>○新津西部コミ協の役割（※再掲）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役員を受けてくれる人が少なくなった。 ・コロナ禍や社会の変化により、コミュニケーションがとりづらくなった。 <p>○安否確認・つながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老の日に赤飯を配り、安否確認をしている。（山谷町1） ・弔問をしている。（山谷町1） ・9月の敬老会に、お祝い弁当と一緒に緊急情報用紙を配布している。（天神） ・コロナ禍で家族葬をされた家に町内会長として手を合わせたいと訪問したところ、家族が受け入れてくださり町内会との関係性が築けている。（新栄町） ・町内の花植え等、声かけをしてみんなで作業している。（緑町） 	<p>○広報で啓発 （コミ協広報紙「風知草」、町内会報など）</p> <p>○検討会を継続（コミ協、地区社協、民生委員、町内会の連携）</p> <p>（※再掲）</p> <p>○交流や活動の場を作る。</p> <p>○『コミュニティスペースやまや』の活用をPR</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み
災害時	<p>○避難行動要支援者名簿登録の周知</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市と町内会の高齢者状況の数が合致していない。 ・登録者数が非常に低い率である。 	<p>○今後、緊急情報キットと併せて検討できないか相談が必要。</p>
連携	<p>○学校と地域とのつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新津第三小学校で毎週木曜日に学校開放をしているので、訪問して欲しい。（学校側のねらい：いじめや孤独などの気づき） ・訪問すると情報もあり、子どもたちの挨拶が良く元気をもたらしている。 <p>○町内会と民生委員との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会の役員会に民生委員も参加している。（南町二区） ・互いに情報共有し、状況に応じて町内会長と民生委員と一緒に訪問している。 ・民生委員が交代しても引継ぎがスムーズだった。 	<p>○地域と学校との関係づくり啓発（コミ協から各町内に呼びかける）</p> <p>○町内会と民生委員の連携強化（情報共有が大切）</p>
その他	<p>○町内の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化が進み、高齢者のみ世帯や、高齢ひとり世帯が多い。（古田） ・高齢者が多いため、草取り活動は前日に役員が行った後に、当日参加者みんなで行っている。（天神） ・空き家が増えている。 ・隣組長や町内会役員で、町内会のあり方や対応等を考えている。 ・家族票を見て、亡くなった方がいたことがわかった。（ほとんどの町内会で家族票を集めている） ・若い世帯は表札や固定電話が無く、携帯電話のみの傾向であり、世帯状況がわからない。 	

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブが解散し、状況がわからなくなった。 ・留守の状況がわからない。 ・隣近所が親しくなれると良い。 ・町内会の集金で何回も訪問するが、出てこない家があり困っている。 <p>○アパートとの関係(工夫)について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アパートの住人との関係をどうするかが課題。 ・アパートが増えたが、町内会には入らない現状がある。 ・アパートには行政からの連絡が周知されていない。 <p>→回覧等をまわして、アパート住人の家族票をもらっている。</p> <p>→アパートのオーナーから町内会費を納入してもらっている。(古田・天神)</p>	

話し合われた課題や取り組みに対し、支え合いのしくみづくり会議で出されたアイデア等を共有しながら地域福祉活動に活かすことで、支え合いのしくみづくりと一体となった取り組みを進める。

令和5年度 荻川地区地域福祉懇談会(新年度打合せ会議)報告

日時：令和5年6月15日(木)13:30～15:00

会場：荻川コミュニティセンター

【出席者】 荻川コミ協： 窪田会長、加納副会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、田中武則副会長、中村副会長、
(敬称略) 本間会計(支え合いのしくみづくり会議構成員、車場寿会会長)、鈴木事務局長

荻川地区協議会：五十嵐会長(中野3丁目会長)、田中雄二副会長(あおば通会長)、田村事務局長(中野5丁目会長)

町内会長：伊藤会長(荻島連合町内会・荻島1丁目)、木村会長(車場連合町内会・車場3丁目)

荻川地区民協：中野会長(支え合いのしくみづくり会議構成員)、横山副会長

区老連荻川協議会：久保田会長(荻島荻友会会長)

荻川地区社協：関代表(コミ協副会長)、星副代表、石井スタッフ、五十嵐スタッフ、曾我スタッフ /計19名

秋葉区社会福祉協議会：横山(地区担当)、加藤(支え合いのしくみづくり推進員)

【内 容】

	課題・具体的な取り組み(現況)	R5年度の取り組み	
見 守 り	<p>○おぎかわあったかネットの充実・推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続することが大きな力となる。不安や孤立感の解消などの様々な効果がある。 ・町内の人々が声をかけることで安心感がある。(喜ばれている) ・日頃から、気にかけて合うことが防災にもつながり、大切である。 ・外部見守りで無事の確認をし、偶数月の届け物で本人と会っている。 ・自治会・町内会と民生委員と協力員との連携がとれている。 ・月2回以上の活動をしており、町内会長が協力員の報告書にコメントを添えて返している。(荻島1) 	<p>○おぎかわあったかネットの推進</p> <p>(自治会・町内会、民生委員、協力員等の連携)</p>	コミ協(地区社協)

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・コメントは協力員の立場からはやりがいを感じ、嬉しい。 ・地域の情報がわかるようになった。 ・公園のまわりを散歩する利用者があるので、見かけた時には声かけをしている。 ・本人と話がしたいが、家族の考え方により会えない人もある。（家族は、本人がまだ元気だと言い関われぬ） ・訪問だけでなく、犬の散歩等での何気ない見守りも大切である。 ・協力員の研修や交流会の意義は大きい。 ・個人情報の関係から、常識をもった活動が望ましい。 ・毎月の打合せ会がパターン化している。（車場） <ul style="list-style-type: none"> ・車の運転が心配な方がいる。 ・認知症への対応はこれからますます難しくなっていく問題である。 （どう対応するのか、どこまで責任を持つのが課題） 	<ul style="list-style-type: none"> ○協力員研修及び交流会の開催 ○打合せ会の工夫（車場） ○認知症等の課題の検討 ○関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協(地区社協) 車場町内会 コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員等 関係機関と連携
緊急情報キット	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キット配布 ・コミ協(地区社協)にてデータ管理し、全自治会・町内会長へ配布依頼。 ・緊急情報キット配布を通じた見守りを継続 	<ul style="list-style-type: none"> ○緊急情報キットの配布及び情報内容の更新を継続 	<ul style="list-style-type: none"> コミ協(地区社協) 自治会・町内会 民生委員（連携）

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
居場所	<p>○荻川やすらぎの間への移動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化と要介護状態になり、少しずつ参加者が減っている。 ・荻川やすらぎの間への送迎があれば参加したいという声がある。 <p>○高齢者の居場所が見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会館での「お茶の会」が見守りの場となっている。（あおば通） ・コミセン事務室隣の茶の間が使われていない。 	<p>○荻川やすらぎの間と藤の木原福祉会が連携した移動支援の検討を進める。</p> <p>○居場所での見守りの継続</p>	<p>コミ協(地区社協) 藤の木原福祉会</p> <p>あおば通町内会</p>
近所付き合い	<p>○隣近所の声かけ、助け合い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・普段の生活の中での近所付き合いでの関係づくりが大切。 →除雪等困った時に声をかければ助け合える関係づくりが大切。 ・組織に入らないとできないという考えの人もいる。 	<p>○隣近所の助け合い啓発</p>	<p>自治会・町内会</p>
子どもの居場所	<p>○荻川子ども食堂（居場所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若いお父さんやお母さんの参加も見えてきて、仲間づくりの場となると良い。 ・川口ほうかご広場と連携で参加者が増えた。（30食準備） ・中学生ボランティアを募集し、7月より参加予定。 	<p>○子ども食堂と子どもの居場所の連携を継続</p>	<p>コミ協 川口ほうかご広場</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
子どもの居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアが不足している。口コミによる募集でボランティアが増えたが、月1回の定期開催はできない。（調理以外で見守りボラも可） ・川口の見守りボランティアについて、老人会と連携できると良い。 ・メニューを増やしたい。 ・食材の寄付があると良い。（米など） ・まわりの飲食店への配慮も考えると良い。 <p>○子どもの居場所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園等も子どもや親、町内会の交流の場であり、見守りの1つとして考えている。子どもたちを巻き込み、清掃活動もしている。（あおば通） 	<ul style="list-style-type: none"> ○周知・PR方法の工夫(コンビニ、ごみステーション掲示) ○「広報おぎかわ」に掲載（ボランティア、米など食材寄付・寄付金募集） ○子どもや親を巻き込んだ取り組みの継続 ○公園の活用 	<p>コミ協</p> <p>コミ協</p> <p>あおば通町内会</p>
防災	<p>○防災への取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守りが地域の防災につながる。 ・避難行動要支援者の避難についてどうするか。 ・自力で歩いての避難が難しい人が多い。 ・自分や家族が優先になるため、災害時に要支援者を連れて行くことは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「我が家の避難所」の継続（防災の意識啓発） ○避難行動の課題検討 	<p>コミ協(地区社協)</p> <p>自治会・町内会</p> <p>民生委員</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・老人クラブ活動が活発であり、特に課題はない。（結・福島） ・組織が多いので、まとめることも必要ではないか。 ・民生委員が頑張っている。 	○老人クラブ活動の継続	老人クラブ

福祉懇談会（満日地区） 日時：令和5年6月27日（火）9:30～11:00 会場：旧満日小学校	出席者
	満日コミ協 長谷川会長、菅井副会長、皆川副会長（満願寺町内会長）、小濱会計、坂爪事務局次長 渡辺総務部長、皆川教育・文化部副部長、高橋福祉健康部長 満日コミ協社会福祉部特別部会 北上部員、杵鞭部員、田中部員 七日町町内会 杵鞭会計 阿賀小学校満日 PTA 小松副委員長 まんまるサロン担当者 坂井様（声かけ訪問活動訪問員） 秋葉区健康福祉課地域福祉担当 齋藤係長 秋葉区社協 横山事務局長補佐、熨斗、時田

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
高齢者	生活支援	<ul style="list-style-type: none"> • 買い物支援の利用者は楽しみにされている様子。 • 自分で買うものを選べる喜びがある。 • 町内会までは利用者の声は届いていないため、利用者の声を聞く機会があるとよい。 • 町内の商店が存続できるようバランスを保ちながら支援を行っていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■買い物送迎支援 • 町内の商店が存続できるようバランスを保ちながら継続していく 	コミ協
	認知症	<ul style="list-style-type: none"> • 家族にとっても地域にとっても認知症の理解が進むとよい。みんなで見守りができるとよい。 • 若い世代にも知ってもらいたい。 • 認知症になると火災が心配。冬はストーブなどで火災の危険性が高まるため、冬は施設に入り、暖かくなると自宅に戻ってくる人もいる。だんだんと認知症が進み、施設入所となる方が多い。 • 高齢者施設では職員によってサービスの質に差がある。 • ボケという言葉はよくない。正しい理解が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■認知症講座 • 内容について検討する • 若い世代にも理解が広がるよう検討する • 施設と地域の交流の場を検討 	コミ協

		課題・具体的な取り組み（現況）	R 5 年度の取り組み	備考
高齢者	見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6 人の訪問員で見守りを行っている。訪問員の入れ替わりなどあったが、継続できている。 ・ 新たな対象者の把握として民生児童委員と連携して、対象者がこぼれないようアンテナをはっている。 ・ 他地区の見守りを参考にしたい。 ・ ゴミ出しの時など気にかけるようにしている。 ・ 朝、晩の犬の散歩のときに住民とあいさつを交わしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■見守り訪問活動 ・ 他地区の見守りを参考にしつつ、現在の活動を継続していく ■ゆるやかな見守りの継続 	コミ協 地区社協
交流	居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者が固定化し、新しい人の参加が見られない。もう少し人数が増えるとよい。 ・ 参加者が増えるよう、内容を工夫している。（グラウンドゴルフ、こけ玉作りなど） ・ まんまるサロンには小学生も時々参加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■いきいきサロン ・ 継続して運営できるよう検討する 	コミ協 各サロン
	世代間	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもが安心して遊べる場所があるとよい。 ・ 区内に子どもが楽しく遊べる場所があるとよい。 ・ 身近に若い世代がいないと情報が少ない。 ・ コロナの影響で、多世代交流が減った。 ・ 若い世代が親子ふれあい広場を求めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■親子ふれあい広場 ・ 今年度実施してみる ・ 小学生以下は保護者同伴にし、世代間交流にもつなげる 	コミ協教育・文化部
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 以前、PTA でお化け屋敷などを実施していた。 ・ PTA の行事を再開するかアンケートを実施し、やりたい人、見送りたい人が半数だったため、ビンゴ大会を実施してみることにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■PTA 行事 ・ 夏休み前にビンゴ大会を実施 	阿賀小満日 PTA

健康	健康ついで	<ul style="list-style-type: none"> 健康講座の参加者が少ない。 健康講座でグランドゴルフやボッチャなどで体を動かすことも行っている。 グランドゴルフを広めていきたい。 若い人も参加できるように土日開催にした。 年間表で広報していたが、都度広報してみるのもよいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■健康講座 参加者が増えるよう検討する 	コミ協福祉健康部
広報	方法	<ul style="list-style-type: none"> コミ協の広報誌を年2回発行予定。 周知が大切だと痛感している。 宣伝カーで広報している地区があると聞いた。 他の地区でどのように事業の周知をしているか知りたい。 若い方に来てもらいたいが、若い方は時間がなく、忙しい様子もあり、地区の行事に参加するのは厳しいのではないか。 土日にも部活やその送迎などがあり、忙しい様子もある。 	<ul style="list-style-type: none"> ■コミ協だより発行 周知を継続していく 他地区の事業の周知方法を参考にしたい 	コミ協総務部

福祉懇談会（新津東部地区）	出席者
	新津東部地区社協 古川会長、中野副会長、和泉会計 新津東部地区民児協 小林会長、木津副会長、馬場副会長 秋葉区社協 横山事務局長補佐、小林、時田
日時：令和5年5月18日（木）9:50～10:50 会場：新津地区勤労青少年ホーム	

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
高齢者	居場所	<p>*サロンの現状</p> <p><input type="checkbox"/>金沢町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月3回開催。内容は手芸、歌、茶話会など。 <p><input type="checkbox"/>草水町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ほそぼそと継続している。 ・新しい人が入ってこない。 <p><input type="checkbox"/>北上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化、役員の引継ぎがうまくいかず、サロンが解散してしまっただ。 ・アンケートで叙情歌が好きな人が多いことが分かり、叙情歌部を作った。老人クラブの勧誘から声をかけるのではなく、叙情歌部に参加した方へ老人クラブの勧誘を行っている。 <p><input type="checkbox"/>新町</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町内会主体でふれまち委員と連携してサロンを運営している。 ・以前は参加者が60名ほどだったが、コロナの影響で、40名ほどに減ってしまった。 ・食事の提供や交流などを行っている。 		

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
高齢者	居場所	<p>*サロン運営の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> • 細く長く続けていくことが大切。（なくなってしまうと立ち上げるのに苦労する。） • 町内の掲示板を活用して周知している。 • 参加者が増えるよう、魅力ある活動をする 것도大切。 • 今いる人が継続して来れる内容にすることも大切。 • 世代を超えた交流を検討していく。 • 町内のお楽しみ会を楽しみにしている方が多いため、町内の行事でサロンの参加を促す。 • できる人でやっていくことも大切ではないか。 • 年をとると人との交流を煩わしいと思う方もいる。 • 老人クラブを活用していく。 <p>*サロンの課題</p> <ul style="list-style-type: none"> • 参加者、運営者の高齢化 • 後継者不足 • コロナによる参加者の減少 • 移動手段のない方への対応 • 身体が不自由な方への対応 	<p>■いきいきサロン</p> <p><u>総会でサロンの事例発表</u></p> <p><u>情報交換会の開催</u></p> <ul style="list-style-type: none"> • サロンを運営している人の話を聞きたい。 • 助成を受けていない団体も対象にしたい。 	<p>コミ協 地区社協 各サロン</p>
	健康づくり	<ul style="list-style-type: none"> • 健康づくりの集いの参加者が少なく、いつまで続けていくとよいのかと思うこともある。 • 医学的なものでなく身近な内容のものがよい。 • 食の健康は興味のある方が多い気がする。（試食など） • タクシーを活用した送迎ができる体制は整えている。 • 開催にあたり区と話し合い、検討している。 • 軽い運動もできるとよいのでは。 	<p>■健康づくりの集い</p> <ul style="list-style-type: none"> • 内容や周知方法等検討 	<p>コミ協 地区社協</p>

		<ul style="list-style-type: none"> 今年度は区の協力を経て特定検診の結果の確認、血管年齢検査、輪投げを予定している。 		
	見守り	<ul style="list-style-type: none"> 町内で見守りのしくみをつくり、コミ協が町内の見守り活動を支えるシステムを検討する。 新町はふれまち委員でおせち料理を届けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■おせち料理配食事業 ・地域で配達できるか検討 	コミ協 地区社協
多世代	交流	<ul style="list-style-type: none"> 初夏の新津川遊歩道を歩きましょうは人とのつながりとなるよい機会となっている。 山や川などの資源を活用したつながりについて検討する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■初夏の新津川遊歩道を歩きましょう ・継続して実施 	コミ協 地区社協
	居場所	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの居場所と併せて高齢者など誰でも参加できるような居場所があるとよい。 こども家庭庁の動きはどうなっているのだろうか。 電気代も上がるため、暑い日に涼める場所などから始めていくこともできるのでは。 役を持ったり、趣味をしたりと行く場所があること自体が居場所となっている。 行ける場所が多いほどよい。 居場所をたくさん作ってあげたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子どもの居場所 ・誰でも参加できるような居場所があるとよい 	
人材育成	研修	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の人とつながることが大切 人との付き合い方のノウハウを学べるとよいのでは 	<ul style="list-style-type: none"> ■勉強会の開催 	
自治会・町内会	支え合い	<ul style="list-style-type: none"> 東部地区は広く横に長いので、自治会・町内会ごとに取り組みをしていく方がよい。 すべての活動が支え合いのしくみづくりにつながるように活動している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■助成金 ・東部地区社協より助成金を出して町内ごとの活動を支援していく。 	コミ協 地区社協 自治会・町内会

福祉懇談会（阿賀浦地区） 日時：令和5年6月23日（金）13:30～14:50 会場：新津地域学園	出席者
	新金沢町自治会 柿本会長、重川副会長、田中様 東町町内会 湯田会長（コミ協事務局長）、高橋副会長 東金沢自治会 遠藤会長、名古屋副会長 大安寺自治会 坂口会長（コミ協副会長）、坂口民生児童委員 中新田自治会 星野様、佐藤民生児童委員 秋葉区健康福祉課 相馬課長 秋葉区社協 横山事務局長補佐、熨斗、時田

課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
<p>[緊急情報キットについて]</p> <p><新金沢町自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> 見守りの希望者が減ってきている。（見守りされていることを知られたくない人が多い） 組長が見守り希望の確認をしている。 知らない人から見守られるのを嫌がる人がいる。 見守られることが地域の恥と思っている人もいる。 活動をすればするほど悩みが出てくる。 <p><東町町内会></p> <ul style="list-style-type: none"> 民生児童委員と協力して実施している。 福祉部を設けたが、まだ活動方針を決めていない。 困りごとの把握を行い、今後の取り組みに活かしていきたい。 コロナで事業中止が続いていたこともあり、町内の取り組みの熱が下がってきている気がする。 見守りが必要な方を把握するのは難しい。（最近入ってきた世帯や若い人と同居している世帯など） 以前キットの周知としてチラシを配布したが、手を挙げない人が多数いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■緊急情報キットを活用した見守り ・取り組み方法についての意見交換会開催 <ul style="list-style-type: none"> ■見守り訪問 ・課題など検討していく <ul style="list-style-type: none"> ■緊急情報キットを活用した見守り ・取り組み方法についての意見交換会開催 <ul style="list-style-type: none"> ■今後の取り組みについて ・全戸配布のアンケートで困りごとを把握し、今後の取り組みを検討する ・アンケートを基にまちづくり懇談会を実施する ・夏祭りを開催し、町内の事業を活性化する 	<p>新金沢町自治会</p> <p>新金沢町自治会</p> <p>東町町内会</p> <p>東町町内会</p>

課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
<p><東金沢自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> • 老友会と協力して実施している。 • キットの理解が広がっていない。 • キット更新の声かけが見守りになるのではないか。 • 見守りが大切なのは分かるが、自治会も大変なため配布まで はできるがそれ以上の負担は難しい。 • 見守りをされたくない人もいるのではないか。 • 今まで、キットがなくても不都合はなかった。 • キットの形が使いづらい。 • 家族票をとり、地域住民を把握できたので、今後の取り組み に活かしていきたい。（名前、年齢、緊急連絡先などを確認した） • 町内でキットの点検の打ち合わせを行い、点検表を作ってま わることとした。 <p><大安寺自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> • キットの配布を通して、関わるのが難しい世帯を見守ること ができた。 • 8050 世帯やひきこもり世帯などは把握が難しく、見守りを 希望しているかも分からない。 • キット配布の効果などについて知りたい。 • 見守りにキットが必要なのか。 • 他地区の見守りの事例等を知りたい。 • 自治会役員が訪問するのは大変だと思うので、顔の分かる人 が訪問する方がよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ■緊急情報キットを活用した見守り <ul style="list-style-type: none"> • 取り組み方法についての意見交換会開催 ■困りごとへの対応 <ul style="list-style-type: none"> • キットの確認に合わせて困りごとの確認を行う • 対象世帯に対してどうアプローチしていくか検 討する ■緊急情報キットを活用した見守り <ul style="list-style-type: none"> • 取り組み方法についての意見交換会開催 ■見守り活動について <ul style="list-style-type: none"> • 他地区の事例を参考に考えていきたい。 	<p>東金沢自治会</p> <p>東金沢自治会</p> <p>大安寺自治会</p> <p>大安寺自治会</p>

<p>• 昨年は75歳以上の希望者を中心に配布したが、若い方へも希望を確認したい。</p> <p><中新田自治会></p> <ul style="list-style-type: none"> • 回覧で希望者の確認をしたが、もらってほしい人が希望してくれなかった。 • 必要と思われる世帯に民生児童委員が配布した。 • 更新しているかの確認はどうしたらよいのか。(本当に記入しているか分からない) • 認知症の方が失くしてしまったり、書き方が分からない様子だった。 <p><コミ協></p> <ul style="list-style-type: none"> • 担当者間で課題を検討していくことが必要なのではないか。 • キットの周知が課題となっている。 • 見守り対象外で困っている世帯があるかもしれない。キットを活用して対象外への見守りができるのでは。キットはもしもの時のために大事である。 	<p>■緊急情報キットを活用した見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> • 取り組み方法についての意見交換会開催 <p>■緊急情報キットを活用した見守り</p> <ul style="list-style-type: none"> • スケジュールの確認 • 関係者への説明会 キットの趣旨、効果、他地区の見守り事例紹介 • 緊急情報キットの周知 <p>■相談一覧表の作成</p>	<p>中新田自治会</p> <p>コミ協</p> <p>コミ協</p>
---	---	---

福祉懇談会（新関地区） 日時：令和5年7月11日（火）13:30～15:00 会場：新関地区コミュニティセンター	出席者
	新関コミ協 渡辺会長、長谷川副会長、松田副会長、山崎会計、吉田事務局長 間防災部長、土田安心安全部長、高橋安心安全部副部長 松屋福祉健康部長（支え合いのしくみづくり構成員） 秋葉区健康福祉課地域保健福祉担当 佐川保健師 秋葉区社協 横山事務局長補佐、熨斗、時田

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
防災	講演会	<ul style="list-style-type: none"> ・防災の活動は6月までに実施できた。 ・災害時の女性の力をテーマに講演会を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災講演会 ・女性の活躍について考えていきたい 	コミ協防災部
	訓練	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校、保育園、コミ協合同の避難訓練を実施できた。 ・コミセンの消防訓練に50名ほどの参加者があった。 ・消防訓練に児童クラブも参加し、高学年の子どもたちが低学年の子の誘導をしていた。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災訓練 ・継続して実施 	コミ協防災部
	自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会からコミ協へ報告してもらう予定が、コミ協の電話が繋がらないトラブルがあった。 ・当日のアクシデントも良い経験となった。 ・災害時、他の町内と連携していくことも大切。 ・自治会ごとに想定される被害が違う。（水害の恐れがある町内もあれば地すべり等が危険な町内もある） ・違う内容の防災訓練もやってみたい。 ・要支援者名簿が区から届くのが遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災の日 ・町内の取り組みの様子を聞いていきたい ・隣組で連携できるしくみがほしい 	コミ協自治会

		課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
安心安全	見守り	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回青パトを実施。（3名で交代して回っている） ・クマ、イノシシ、サルの出没や事件等のときに臨時で青パト回ることもある。 ・クマ、イノシシの出没多く臨時の回数も多い。 ・子どもの登下校の見守りをを行っているが、危険なことなどはなかった。 ・自治会ごとに子どもの登下校のつきそい、見守りをしている。 ・子どもたち元気に挨拶をしてくれる。 ・町内の中など誰か分からないときには、子どもからの元気な挨拶がない時もある。 ・町内に子どもが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ■青パトの継続 ■子どもの見守り <ul style="list-style-type: none"> ・顔の見える関係づくり 	<p>コミ協安心安全部</p> <p>コミ協自治会</p>
	子ども	児童クラブ	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度で5年目の運営となる。 ・子どもの人数が増えているため、支援員も3人に増やした。（R5 通常31名、夏休みは5名増える） ・スタッフの疲労が大きいため、増やしたいが経験や人件費の問題もある。 ・七夕飾り、ふれあい祭り、作品展、つるし雛を通して自然に地域と交流できている。 ・児童クラブを通して子どもたちも地域との関わりができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ■多世代交流 <ul style="list-style-type: none"> ・児童クラブを通して自然な形で子どもを巻き込めるような事業を継続していく
	人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ・顔を知っていることで連携がしやすくなる。 ・マスクをしていると顔が分からない。 ・子どもにいい思い出を作ってあげたい。 ・郷土愛を育てたり今後の地域貢献につながっていく。 	■子どもを地域で育てる	コミ協

連携	自治会	<ul style="list-style-type: none"> • 自治会との連携大切。 • 自治会と話し合いの機会を持ちたいが自治会も忙しい。 • コミ協事業については分かりやすい文書を作って工夫している。 • ふれあいまつりについて説明会を実施し、協力を得られた。顔を合わせることは大切。 • 自治会によって認識が違う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自治会との連携 • 協力が得られるよう取り組みを工夫する 	コミ協
高齢者	移動支援	<ul style="list-style-type: none"> • 今後考えていく必要がある。 • 来たい人が来れるようにしていきたい。 • 大きなイベントのときなどにバスを回すなどできたらよい。 • 健康相談を行ったときに移動手段のない方は相談してくださいとしていたが、連絡はなかった。 • 送ってもらう人も多い様子。 • 町内ごとに乗り合わせできるか検討するのもよいが、事故の心配もある。 • ふれあいまつりに合わせて考えていくのもよいかも。 • 小口のタクシー会社がつぶれたため、融通が利かなくなった。 • 来年度から町内の中をバスが走るようになる。 • こぐち苑との連携も考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■移動支援の話し合いの場を設ける • 課題の整理 	コミ協
周知	会報	<ul style="list-style-type: none"> • 会報を年 8 回発行し、こまめに出して新鮮な内容を届けるようにしている。 • 会報を通してコミ協の事業を周知できている。 • 会報の作成は 1 人で行っており、大変。 	<ul style="list-style-type: none"> ■会報の作成 • 継続して実施 	コミ協

<p>地域福祉懇談会（小合地区）</p> <p>日時：令和5年6月7日（水）13：30～14：30</p> <p>会場：小合地区コミュニティセンター 集会室</p>	出席者
	<p>小合コミ協：阿部会長 野瀬山副会長 稲月副会長 澤田副会長 高橋副会長 今井事務局長</p> <p>地区社協：吉田幹事 鈴木幹事 井村幹事 吉田幹事 大竹幹事 高野幹事</p> <p>サロン：大鹿ふれあいサロン川島さん サロンさくら会井浦さん</p> <p>大秋にぎやかサロン高橋さん ふれあい興寿高橋さん</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐 小林地区担当 吉岡 SC</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも同じメンバーで活動されているので気兼ねなく相談できる関係ができています。 ・いつも参加してくれている方に役員の話をするとう家庭の事情もあり難しいと断られてしまい交代できない現状がある。 ・サロンの担当を自治会がやるのはとてもいい。 ・現在参加人数が10人に満たない日が多く次年度の継続が難しい状態である。 ・自営業が多く年中仕事という方が多い地域であり、参加者も高齢で入院したり、公会堂が境内にあるため不幸があると参加できないといった課題もある。 ・中間の年代の方が参加している。参加者も12名くらいで特に困りごとはない 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度からは自治会が主で活動をする。（若い方の役員の確保と、活動内容の見直しを行い、若い世代の参加を期待したい。） ・仕事をしている人も多く現在の開催日や時間の検討も今後役員と一緒にいる。 ・子ども会との連携（地域子ども会との合同イベントとして納涼会を計画している。子ども会を通じて案内を渡し、両親も一緒に参加できるイベントにする。） ・花見や年末年始は集まってイベントを開催する。 ・サロン開催日が平日なので、今後土日も含めて検討する。 	<p>大鹿ふれあいサロン 大鹿自治会</p> <p>蕨曾根ふれあいサロン</p> <p>サロンとき</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度の取り組み	備考
居場所	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの数も少なくクラブなどあれば参加できない。 ・回覧板などで周知しているがそれ以外も声掛けなど行っている。読み聞かせなどあれば子どもは集まるが、声掛けしないと来ない。 ・今年度から週一の茶の間になった。参加人数も22名くらいで地域でやっていた「銭太鼓」や「輪投げ」などの方にも声掛けして一緒にやっている。 ・子どもたちとの交流もあり、お互いに幼稚園や保育園に行ったり来たりして参加を促している。 ・音楽や体を動かしたり物作りをして楽しんでいる。参加人数に関してはまちまちで少ないときもあれば多い時もある。 ・男性の参加を検討したらどうか。男性がいるとできることが増える。いないと差し支えることもあると思う。 ・男性も参加しやすい環境づくりが大切ではないか。 ⇒針仕事など活動内容にあっても参加しにくい。 ⇒夜などの開催でお酒の提供もありなのではないか ・参加者が固定しているため、新しい人が参加しにくいという声があった。 ・自治会・町内会がサロンの後押しをしてくれたらいい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・回覧や声掛けによる周知 ・若い人が参加しやすいようにヨガや体を動かす内容を検討する。 ・参加しやすい雰囲気作りが大切である。 ⇒男性を含めた誰でも参加しやすい内容を検討する。 ・自治会・町内会とサロンによる情報交換の場を検討。 ・サロンの充実・推進 ・ロコモ、読み聞かせ、ギター演奏支援 	<ul style="list-style-type: none"> カフェくりみや サロンさくら会 子成場ふれあいサロン 各サロン 自治会・町内会 地区社協

見守り	<p>・おせち訪問の希望があった方に、サロン担当がおせちを届けたが、一回のみの訪問のため、寂しさが増したのではないか。</p> <p>・なじらて訪問の回数を増やした方がいいのではないか。</p> <p>・二人暮らしの高齢者世帯のお一人が亡くなった。今後高齢者一人暮らしになった場合、見守りが必要になると思うが、民生委員に早々に情報がいくのか心配である。</p> <p>・地域で集まる場所に参加しないと地域の活動などわからないことがある。</p>	<p>・なじらて訪問など、サロン担当者などによる訪問回数を増やせるかを検討する。(方法などについては確認と検討する。)</p> <p>・自治会・町内会と民児協との連携</p> <p>・民生委員に確認する。</p> <p>・情報交換の場を検討。</p>	<p>地区社協</p> <p>自治会・町内会 民児協</p> <p>地区社協</p>
-----	--	---	--

令和5年度 金津地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

福祉懇談会（金津地区） 日時：令和5年5月28日（日）10:00～11:30 会場：金津地区コミュニティセンター	出席者
	金津コミ協：青木会長、今井副会長、齊藤副会長、中野副会長、植木会計、萱森事務長 金津地区社協：小林委員長、小林委員 金津地区民児協：太田副会長、長谷川副会長、高橋民生委員、沼田民生委員、小坂民生委員、 小玉民生委員、長谷川民生委員、伊藤民生委員、宮崎民生委員 秋葉区社協：横山事務局長補佐、藤田、吉岡

	課題・具体的な取り組み（現況）	R5年度取り組み
見守り	<p>○高齢者の見守り訪問について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見守り活動が浸透していない。（あい愛訪問） ・来てくれて良かった、来なくて良いなど人によって受け取り方も違う。 ・見守り訪問の押しつけは良くないが、地区社協の見守りは敷居が低いものであり、希望される人を取りこぼさないようにしてほしい。 ・訃報が届くと高齢者のみの世帯であれば、残った家族はどうかという視点で声をかけている。（友愛訪問） ・手をあげられない人の声なき声を聞いていく。 ・訪問時にどんな会話をしたらいいかわからないため、話題を提供してほしい。 <p>○地区社協の役割について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は地区社協のメンバーが変わったため、具体的なところはこれから進めていく。 ・今できることをできる人で少しずつ進めていきたい。 	<p>○あい愛訪問の継続（地区社協）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの周知 ・連携 （地区社協、自治会・町内会、民生委員） <p>○友愛訪問の継続（民生委員）</p> <p>○地区社協の役割の確認</p> <p>○学習会の検討</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R 5 年度の取り組み
見 守 り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協がどの範囲をするべきか不安もあり、地区社協の役割を考えていきたい。 ・ 他地区の地区社協の事例を聞きたい。 ・ 見守り訪問のあり方を学びたい。 <p>○見守り活動の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 見守り活動は多くあってよいが、役割の整理や周知が必要である。 ・ 民生委員の見守り（友愛訪問）と地区社協の見守り（あい愛訪問）の違いがわからない。 ・ 見守りを通して、心配ごとが民生委員へつながってくる。 ・ 見守りはしてあげるものでも、してもらうものでもない。相手の気持ちが大切である。 <p>○子どもたちへの見守り・地域全体の見守り活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 登下校の見守り活動は、防犯活動につながる。 ・ 他区の事件をきっかけに4年前より「ぴいす金津」を始め、金津以外で評判になっているが、金津地区ではまだ周知不足を感じている。 ・ 危険個所が23カ所あり、椅子の設置ができていない所は16カ所。寄付してもらうことが防犯にもつながるが、不要になった椅子が集まらない。 ・ 地区民児協で2年前より交通安全、危険個所等の視点で、児童見守り合同パトロールを実施している。 ・ さまざまな見守り活動から令和4年度の不審者情報がなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> ○見守りの役割の整理 ○周知方法の検討 ○見守りの視点の明確化 ○情報の共有・連携 (地区社協、自治会・町内会、民生委員) <p>○ぴいす金津の継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 周知方法の検討、呼びかけ <p>○児童見守り・合同パトロールの継続 (民生委員)</p> <p>○ながら見守りの継続</p> <p>○わんわんパトロールの継続</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R 5 年度の取り組み
福祉推進・連携	<p>○福祉推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉推進をみんなで考えていく必要がある。 ・町内で町内役員・民生委員・茶の間運営の3者で情報交換会をしており、情報を共有している。（西古津自治会） ・自治会・町内会長会で町内の情報共有について伝えていきたい。 ・5年前に各自治会の福祉活動についてヒアリングをしたが、今年も実施したいため、自治会・町内会長会等で相談しながら進めたい。（民生委員） ・やるべきことは多少無理をしても最優先に進めていく。 	<p>○情報交換会の実施を検討 （地区社協、自治会・町内会、民生委員）</p> <p>○自治会・町内会内での情報共有の進め</p> <p>○福祉活動の把握</p>
居場所	<p>○茶の間について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間も見守りの役割がある。 ・茶の間の運営もみんなで協力していくことが人が増えていくことにつながる。 ・スタッフも参加者も男性の参加が少ない。 ・町内会と老人クラブとの連携があるとよい。 ・参加者が高齢となって、足腰が弱くなり、会場まで来れない人が出てきており、参加者の減少がみられる。しかし、茶の間内で送迎まではできない。（さわやか朝日） ・自治会からも助成をもらえており、参加費なしで実施できている。 	<p>○運営の継続と工夫</p> <p>○情報交換・連携</p>
防災	<p>○防災の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動ける高齢者はいいが、声をあげることができない高齢者をどうしていくか。 ・黄色いハンカチの活動は声を出せない人にも有効な手段である。（古津） 	<p>○防災訓練の実施（コミ協）</p> <p>○避難行動要支援者への対応の検討</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	R 5 年度の取り組み
	<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練等、若い世代の参加が少ない。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○小・中学校とコミ協との連携について <ul style="list-style-type: none"> ・昨年実施した文化の日の取り組みを継続して実施する。 ・合同の防災訓練を実施し、地域の安全につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○文化の日の事業実施 ○合同防災訓練の実施

令和5年度 小須戸地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

福祉懇談会（小須戸地区） 日時：令和5年6月19日（月）15:00～16:10 会場：小須戸まちづくりセンター	出席者
	小須戸コミ協：木村会長、佐藤副会長（事務局長兼務）、長谷川副会長 福祉部会：長澤部会長、田中副部会長、米田部員（支え合いのしくみづくり会議構成員）、五十嵐部員（支え合いのしくみづくり会議構成員） 地域福祉計画・地域福祉活動計画推進員：土屋委員 小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：白井構成員、大貫構成員 秋葉区健康福祉課：片桐課長補佐 秋葉区社協：横山事務局長補佐、小林、藤田、吉岡

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和5年度取り組み
生活支援・移動支援	<p>○地域お手伝い隊について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・依頼があると事前訪問に伺い、作業確認を行うが、実際に作業を行ってみると想像以上に困難であった。作業を行う範囲など、現場確認をきちんと行う必要がある。 ・ワークセンターほほえみと共同で作業を行う計画をしている。しかし、内容について問い合わせはあるが、依頼には至らず、共同での作業が実現できていない。 ・自治会・町内会長にチラシの回覧を依頼したが、あまり効果が見られない。 <p>○移動支援の検討について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間や高齢者クラブ等に訪問し、移動に困っていることについてニーズ調査を行い、支援する内容や対象が決まったので、実施に向けた 	<p>○地域お手伝い隊の活動継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動内容の整理 ・周知方法の検討 <p>○ワークセンターほほえみとの連携</p> <p>○実施に向けて検討を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象地区の自治会との連携 ・緑花園との連携

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和5年度取り組み
居場所	<p>（高齢者クラブ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区内に茶の間はないが、高齢者クラブがそのような役割がある。 <p>（水田地区）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茶の間と情報交換等、連携ができないか。 <p>○子どもの居場所について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活を引退することで、今までの生活が変わり、運動する機会がなくなったことでうつ傾向になることもあり、体を動かす場所というの必要と感じる。 ・スポーツ団体が地域にあるが、見学に行くことが敷居が高く、加入する人数が減っている。スポーツ団体も子どもにとっての居場所となれるといい。 <p>（サードプレイス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サードプレイスについて、広報はしていたが、対象である中学生が開催を知らないという実態があった。 ・中学生の声を直接聞き、子どもたちの求めているものを検討していきたい。 ・周知についても、子どもたちはアイデアを持っており、一緒に取り組めるとよい。 	<p>○運動ができる機会、場の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ体験会等を実施 <p>○中学生の声を取り入れた居場所の検討</p> <p>○周知方法の検討</p>
育成	<p>○子どもたちの地域活動について</p> <p>（こども部会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちも一緒に地域活動をしていくことが、これからの地域の担 	<p>○子どもたちと地域がつながる土台作り</p> <p>○子どもたちが地域活動に参加する機会の提供</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和5年度取り組み
	<p>い手育成につながる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども部会で土台作りをしていく。 <p>○合同防災訓練について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小・中学校との合同の防災訓練を山の手地区と進めていく。 	
<p>広 報 ・ 周 知</p>	<p>○広報・周知活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイムでの発信をしている。 ・コミ協だよりやホームページ等、現在ある媒体を知ってもらう、見てもらうための方法を考えていかなければならない。 	<p>○内容や周知方法の検討</p>

令和5年度 山の手地区地域福祉懇談会（新年度打合せ会議）報告

<p>福祉懇談会（山の手地区）</p> <p>日時：令和5年5月31日（水）19:00～20:10</p> <p>会場：小須戸地区ふれあい会館</p>	<p>出席者</p> <p>山の手コミ協：横山会長、保科事務局長、春日事務員</p> <p>防災・防犯部：坂野部長、古泉副部長 環境部：高野部長 福祉部：五十嵐部長</p> <p>健康スポーツ部：五十嵐部長、白木副部長 ふれあい事業部：村上部長</p> <p>自治会：加藤会長（松ヶ丘）、村上会長（矢代田南）、坂井副会長（矢代田中央）、阿部会長（矢代田北）、木伏会長（矢代田第12）、小柳会長（舟戸3）</p> <p>小合・金津・小須戸圏域支え合いのしくみづくり会議：栞山構成員</p> <p>秋葉区社協：横山事務局長補佐、藤田、吉岡</p>
---	---

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和5年度取り組み
<p>防災・自治会活動</p>	<p>○防災・防犯（コミ協）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯学習会、防災視察研修、合同防災訓練を計画している。 ・自主防災との避難訓練を検討したい。 ・防犯にも力を入れ、交通安全週間（秋）に合わせて、企業と連携し、ステッカーを車に貼った防犯パトロールを行う。 <p>○防災（自治会）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミ協主催の合同防災訓練に参加している。 ・緊急連絡網の実施は難しく、現在は班長間での実施をしている。（松ヶ丘） ・3年がかりで全世帯の名簿を揃えたが、個人情報が多い。名簿は防災訓練で活用し、全世帯の安否確認ができた。（矢代田南） ・集団での避難が難しい。自力で避難できない人など、援助が必要な人の把握が必要であり、確認のための訓練も必要である。（矢代田中央） 	<p>○防災の取り組みの継続</p> <p>○自主防災との連携</p> <p>○企業との連携</p> <p>○避難行動要支援者への対応の検討</p>

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和5年度取り組み
交流・人材育成	<p>（おせち料理（歳末たすけあい弁当）配食事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳末時の配食事業では、3年間継続してボランティアをしてきている中学生もいて、喜んで一緒に訪問してくれている。 <p>（ふれあいまつり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年の中学3年生が小学生のころから今の形の祭り（見る祭りから参加する祭り）になった。これからは、ボランティアの参加などで中学生や保護者も取り込んでいきたい。 <p>（環境）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花いっぱい運動は、年間を通じて、子どもたちと地域のボランティアの協力のもと、きれいなまちづくりを継続している。 ・地域の子どもたちは、前向きで元気がよく、素晴らしい。一緒に活動することは、気持ちが和らぎプラスが多く、今後も広げていきたい。 ・地域の特色を生かし、里山をフィールドにした事業を展開し、つながりや交流を通じた育成をしていきたい。 <p>（除雪）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪活動に若い人が入って来ず、活動者が高齢になってきたことから、昨年から除雪活動をやめた。（舟戸） 	<ul style="list-style-type: none"> ○後継者育成の検討 ○さらなる活動の広がりに向けた活動内容や人材の取り込みの検討
支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ○周知について <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な行動が見えないと、支え合いのしくみづくりを知らない人も多い。 ・様々な活動を色んな人に知ってもらうことは大切なことである。 ○地域のつながりについて 	<ul style="list-style-type: none"> ○取り組みが見える周知の工夫 ○将来につながる仕掛けのある活動の検討

	課題・具体的な取り組み（現況）	令和5年度取り組み
支え合いのしくみづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナで地域も随分変わり、地域の中で顔が見えなくなり、挨拶をする機会がなくなってきた。 ・無関心な人も多く、また、権利やプライバシーは主張し、大都会のようで悲しい。 ・様々な活動が将来につながるので、それには将来を視野に入れた仕掛けが大切である。 	
その他	<p>○会議について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の持ち方に工夫が必要である。 	<p>○取り組みにつながる会議の持ち方の工夫</p>